



兵士名： 前田錦三郎命

特記事項：アリゾナ州在住米国人が返還を希望された遺留品は高知県の老人福祉施設に入所されている前田永子様（妹93歳）が判明し、2016年11月に高知県遺族会の大石会長から直接に手渡して無事に返還されました。

その際に『もう戦争も終わって随分になる今頃、このようなものが返って来るとは考えてもいなかった。今はとにかくびっくりしているのと、返して頂いたことに感謝しています。兄の記憶は、兄が戦死した時は、私が6歳くらいで、昔のことで小さかったこともあり面影などは思い出せません。ただ、その頃のことと思うが、家にお坊さんが来て、父や母がお葬式をしていた記憶があります。今回の遺品は、何かのご縁で戻ってきたもので、大切に兄の形見としてそばにおいておきます。大切に保管して頂いていたことが、遺品の状態からも十分に伺われ、返して頂いた方には、心からお礼を申し上げます。ご親切に感謝します。』というメッセージを頂きました。